

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	「一緒に外国語を勉強しよう」		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法が分かり、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・積極的に友達とやり取りをする。 ・既習済みの内容を扱ったゲームをする。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	4 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<p>※個別学習の場合は、個人の単元(題材)における主な実態を端的に記入する。</p> <p>本校児童1名、他校児童1名で遠隔の合同授業である。本校児童は英語の発音がうまく、自信をもって取り組める学習であり、また年度当初から遠隔で他の教科の授業も行っているため、タブレット端末の操作や遠隔での教師とのやりとりに慣れている。相手校の児童も遠隔授業の経験があり、機器の操作にはすぐに慣れることができた。どちらの児童も集団での学習経験が少ないため、同世代の児童とのコミュニケーションには不慣れであるという面がある。</p>		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	<p>※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。</p> <p>iPad(児童側)、WindowsPC・Web カメラ(教師側)、大型ディスプレイ・スピーカー(教室)、ヘッドフォン(病室)</p>		
	使用したアプリケーションの名称	<p>※使用したアプリケーション名を記入する。</p> <p>ZOOM Cloud Meetings</p>	<p>アプリマーク</p> 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	<p>(複数選択可能)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>コミュニケーション支援</p> <p><input type="checkbox"/>活動支援 (<input type="checkbox"/>情報入手支援 <input type="checkbox"/>機器操作支援 <input type="checkbox"/>時間支援)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/>教科学習支援 <input type="checkbox"/>認知発達支援 <input type="checkbox"/>社会生活支援)</p>		
	ICT活用のねらい	入院中も教室での学習を継続したいという児童本人の願いに応じる形で開始しており、学習保障と治療や学習へのモチベーションを維持することをねらっている。		
活用の状況と支援	<p>※ICT 活用場面と行った支援について記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病室と本校教室、相手校の教室を ZOOM Cloud Meetings を使用して接続し、ひとつの教室で授業を行っているように実施した。 ・画面共有とペン機能を使った書き込み、ビデオ通話による会話で授業を構成した。 ・接続不良に備え、画面共有する資料に教師の説明内容をすべて書き込み、動画に不具合が出た時、音声と静止画のみでも授業が進行できるように準備した。 ・ペン機能を使って、イラストに○をつけたり、花まるを書き込ませたりした。ペン機能はタブレット版とPC版では色数など機能が異なる点があり、共通の色のみを使用するようにした。はっきり見えるように太いペンを使用するように教師が指示をした。 ・音声や書き込みの反映にタイムラグがあることを考慮し、児童への言葉掛けのタイミングを調整した。 			